

令和7年度

行政・社協・NPO 等

# 災害支援三者連携訓練

～大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練～

参加無料(会場定員 80 名)

◆日 時：令和7年10月30日(木)

10時30分から16時30分まで

◆場 所：神戸クリスタルタワー3階「クリスタルホール」

(〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3)

近年の頻発・激甚化する自然災害において、多数の被災者から寄せられるニーズに対応し、適切・効果的な支援を行い、速やかに被災地復興を実現させるには、行政、社協、NPO等の三者がそれぞれの強みを活かしつつ、連携して被災地支援を行うことが重要です。

今回の訓練では、国が推進し各市町の地域防災計画に取り入れようとしている「災害ケースマネジメント」について、県条例に関係規定を設けるなど先進的な取組を推進する鳥取県から山下弘彦氏を講師としてお招きします。

行政、社協、NPO等の継続した連携支援により被災者の自立した生活再建に向けたグループワークを行い、具体的な支援策や平時からの体制づくりについて考えます。

## 1 実施内容

- 被災者の生活再建に向けて、一人ひとりに寄り添い個別の被災状況・生活状況などを把握し、様々な支援を組み立てていく仕組みを、取組事例を踏まえながら学びます。
- 県内で地震が発生したという想定のもと、行政、社協、NPO等が連携しながら、被災者が抱える多様な課題の解消に向けた支援の手法等についてグループワークを通じて学びます。

## 2 参加対象者

行政職員(兵庫県・各市町の防災、福祉、ボランティア関係部局職員)、市区町社協職員、災害ボランティア活動支援関係団体連絡会議構成員、NPO、学識者 等

## 3 お問い合わせ先

ひょうごボランティアプラザ(兵庫県社会福祉協議会) 担当：赤松

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6階

TEL:(078)360-8845 FAX:(078)360-8848

e-mail: vplaza@hyogo-wel.or.jp

## 4 プログラム プログラム内容は変更することがあります。

時 間	内 容
10:30~10:40	開会 オリエンテーション 等
10:40~ 12:00	<b>【講義・対談】</b> 被災者の生活再建に向けて、一人ひとりに寄り添い個別の被災状況・生活状況などを把握し、様々な支援を組み立てていく仕組みを、取組事例を踏まえながら学びます。 <div> <b>登壇者：</b>            山下 弘彦氏（日野ボランティア・ネットワーク（ひのぼらねっと）代表）            頼政 良太氏（被災地 NGO 協働センター代表、関西学院大学人間福祉学部助教）         </div>
12:00~13:00	休 憩
13:00~ 15:00	<b>【グループワーク】</b> 県内で地震災害が発生したという想定のもと、行政、社協、NPO 等が連携しながら、被災者が抱える多様な課題の解消に向けた支援の手法等についてグループワークを通じて学びます。 <div> <b>コーディネーター：</b>            頼政 良太氏（被災地 NGO 協働センター代表、関西学院大学人間福祉学部助教）         </div>
15:10~ 16:30	<b>【グループ発表・全体共有】及び【質疑応答・講評】</b>
16:30	閉会

## 講師等プロフィール（五十音順）

### 山下 弘彦氏

（日野ボランティア・ネットワーク（ひのぼらねっと）代表）

2000 年 10 月に発生した鳥取県西部地震後、日野町を拠点に諸機関と連携して子どもから高齢者まで地域ぐるみで被災後の地域づくり活動に取り組む。大規模災害時には、災害ボランティアセンター・社会福祉協議会などを通じ住民・地域の支援にあたり、平時は、日野町から「ひの防災・福祉コミュニティセンター」を受託運営するなど、町・県内外で防災と福祉が連携した取り組みを支援している。

### 頼政 良太氏

（被災地 NGO 協働センター代表、関西学院大学人間福祉学部社会起業学科 助教）

2007 年、大学入学と同時に中越・KOBÉ 足湯隊（事務局：被災地 NGO 協働センター）として災害ボランティア活動を始める。その後、中越沖地震、兵庫県佐用町水害、東日本大震災など、数多くの国内の災害救援活動に従事。現在、関西学院大学にて災害時の多様な支援や中長期的なボランティア活動などを研究。

主 催：兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランタリープラザ